

国立第二小学校の取組紹介

日本の伝統文化にふれる

書き初め展

日本の伝統文化担当



書き初め展の目的は3つあります

- (1) 書写を体験することにより、自国の伝統・文化にふれます。
- (2) 新しい年の初めの時期、硬筆や毛筆で文字を丁寧に書きながら、一人一人の児童が新しい年への誓いをもてるようにします。
- (3) 文字の正しい書き順、文字のはね・はらい・曲がり・接し方・字形等に気をつけながら、丁寧に一字一字書くことができるようにします。

学年ごとのねらいや学習する内容を決めて取り組みました

(1) 1・2年生 硬筆

ます目の用紙に丁寧に書いたり、点画の長短、接し方や交わり方などに注意したりして、筆順に従って文字を正しく書いたりすることを中心に学習しました。

(2) 3・4年生 毛筆

一文字一文字について、筆使いを重点的に学習しました。

特に、文字の形と中心(外形、点画の方向と長さ、字間など)に気を付けながら書くことに注意して学習しました。

3年生の課題「つよい力」

4年生の課題「元気な子」

(3) 5・6年生 毛筆

半紙の中にどのように書いたらよいか、文字の形、大きさや配列、文字の組み立て方や字配りに注意して書くことを学習しました。

5年生の課題「平和の光」

6年生の課題「希望の春」

書き初め展の期間及び展示等について

全学年、新年に学校で書いたものの中から、1点選んで展示します。また、上記の学年ごとのねらいや学習する内容を観点にし、各学級で2点代表児童の作品を選び、その中から「金賞等」を決め、子供たちの励みとなるようにします。

- (1) 児童の作品は各教室前に掲示します。
- (2) 代表児童の作品は、各クラスの中から2点選出し、中央玄関の1階と2階の踊り場に掲示します。
- (3) 各学年の代表作品となった4作品の中の1作品を金賞とします。
- (4) 掲示の期間は1月13日(火)から1月24日(土)までです。